

「起きよ。光を放て。」  
(イザヤ 60:1)

# 万民中央ニュース

民族福音化と世界宣教の使命を持つ万民中央教会

わたしたちは、聖書の教えと正統的キリスト教の信仰に立ち、新興宗教団体であるエホバの証人・モルモン教・統一教会とはいっさい関係ありません。

第66号 2008. 9. 28.

## 「第8回聖句クイズ大会の本選」



宣教師派遣式 (8月10日) / 日本 イ・ハンニョン宣教師

第8回聖句クイズ大会(男性宣教会主催)の本選が9月7日、ソウルの万民中央教会の本聖殿で行われた。

本選には予選を通った本教会の30人と支教会の16人、計46人が参加して、熱く競い合った。

この日、大賞はパク・フンヨン牧師(デジョン万民教会)が、金賞はファン・グムナン指導教師(光と塩宣教会)とイ・ミソン執事(カナン宣教会)が、銀賞はパク・ヒョンボ牧師(マサン万民教会)が、銅賞はイ・ジェソク執事(男性宣教会)が受けた。

大賞を受けたパク・フンヨン牧師は「第4回は銀賞を、第6回は金賞を受けましたが、今回は大賞をくださった神様に感謝と栄光をささげます」と感想を述べた。

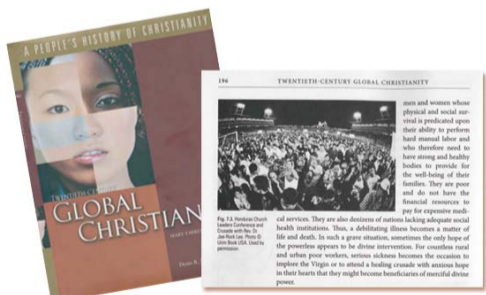
### 道 Column 内面が美しいなら

最近、外見至上主義と言えるほど、男女を問わず外見についての感心が高いです。しかし、外見より大切なものがその人の内面だということに、異論のある人はいないでしょう。

内面を美しく作るには、真理である神のみことばの中に生きなければなりません。心に真理が満たされた分、人生の祝福とともに外見の美しさもボーナスとしてついてきます。けわしい印象がやさしくて良い印象が変わり、悩みと心配で暗い顔が霊的な光を放って、ピカピカ輝くようになります(伝道者の書8:1)。目鼻立ち一つ一つを見ると平凡な顔でも、他の人に「あの人は本当にきれいだ、美しい」と好感を与えます。

文 イ・ジェロク牧師 中央日報連載のコラム「道」より

## 学術書『20世紀世界のキリスト教』に イ・ジェロク牧師の連合大聖会の写真と記事、掲載



アメリカ・ミネソタ州にあるオクスバーク・フォートレス出版社から発行された『20世紀世界のキリスト教』に、「イ・ジェロク牧師招へい・ボンジュラス連合大聖会」の写真と関連記事が掲載された。

この本は、20世紀キリスト教の歴史を教派、大陸別に記録し

た学術書で、第2章<ラテンアメリカにおけるペンテコステの変化>で「財政が困難で医療施設が足りない国の国民は神様を探そうになり、いやしの聖会に参加して神の力を体験する契機になったであろう」と書かれている。

オクスバーク・フォートレス出版社は、アメリカの福音主義ルター教団所属の学術および神学教材専門の出版社として広く知られている。



Manmin Central Church

website: [www.manmin.org](http://www.manmin.org)  
Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
e-mail: [ksy8187042@yahoo.co.jp](mailto:ksy8187042@yahoo.co.jp)



MANMIN TV

website: [www.manmintv.org](http://www.manmintv.org)  
Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
e-mail: [info@manmintv.org](mailto:info@manmintv.org)



WCDN World Christian Doctors Network

Website: [www.wcdn.org](http://www.wcdn.org)  
Tel: 82-2-818-7010  
Fax: 82-2-851-3846  
e-mail: [hwang1923@empal.com](mailto:hwang1923@empal.com)



日本各支教会(4連絡先参照)



堂会長イ・ジェロク牧師

## 1. 神様が下さってこそ持てる霊の信仰

私たちが救われて天国に行くことも、神様に祈って答えられるのも、信仰でなされることです。ところで、この信仰は必ず神様が認められる霊の信仰でなければなりません。人のほうでいくら「信じます」と告白しても、神様が認められる霊の信仰でなければ、救われることも、答えられることもできないのです。

「霊の信仰」とは、自分の知識や理論や思いに合わなくても信じる信仰であり、現実と条件に関係なく、変わらない信仰であり、知識として知っているだけに終わらず、行ないによって証拠を見せる信仰だと言いました。このような信仰があれば、人としてはどういふ不可能なことでも、信仰で祈って答えられるのです。

ところが、この霊の信仰は、人が自ら持てるものではありません。＜ローマ人への手紙12:3＞に「だれでも、思うべき限度を越えて思い上がりはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」とあるとおり、霊の信仰はおのおのに神様が分け与えてくださった分、持てるのです。

もし、人が思いのままに霊の信仰が持てるなら、この世には多くの問題が起こるでしょう。たとえば、隣人をとても嫌っている人が、「あの嫌いな人が交通事故にあうようにしてください」と祈ったとしましょう。こんな人も自ら答えられる信仰が持てるとしたら、世の中はめっちゃくちゃになるでしょう。したがって、正しい方である神様は、答えられるにふさわしい資格を備えた人にだけ、答えられる信仰を与えられます。

＜マルコの福音書9:22＞で、おしの霊につかれた息子の父親が、イエス様のところに息子を連れて来て、いやして下さるようによく求めます。父親は「この霊は、彼を滅ぼそうとして、何度も火の中や水の中に投げ込みました。ただ、もし、おできになるものなら、私たちがあわれんで、お助けください。」と言いました。ここで「もし、おできになるものなら、私たちがあわれんで、お助けください。」というのは、信仰の告白ではありません。まぐれあたりを期待する心です。

それで、イエス様は「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」と悟らせてくださいました。するとすぐに、その子の父は「信じます。不信仰な私をお助けください。」と叫んで言いました。ここで「信じます。」と言ったのは、驚くべき御力のわざを行なわれるイエス様の噂を聞いて、知識としては知っている、という肉の信仰の告白です。

その次に「不信仰な私をお助けください。」と言ったのは、知識としては聞いて知

っているけれど、いざというと、自分の心には息子の問題が答えられる霊の信仰がないことを悟ったので、答えられるための霊の信仰を下さいと求めているのです。このようにへりくだった姿勢で、真実に求める姿をご覧になったイエス様が命じられると、悪霊は出て行って、その子はふつうになりました。子どもの父親は、初めは知識的な信仰を持っていましたが、切に求めて霊の信仰を持つようになり、これによって息子が完全にいやされる神様のみわざを体験したのです。

## 2. 霊の信仰を持つには

1) 霊の信仰が持てないように妨げる、すべてのはかりごとと思弁を打ち砕かなければなりません

そのためには、＜コリント人への手紙第二10:5＞のみことばのように「さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従」させなければなりません。

人が生まれてから学んだ知識と思弁、思考と価値観はすべてが正しいものでなく、ただ神様のみことばだけが永遠不滅の真理です。人が自分の知識と思弁が正しいと言い張っている時は、真理である神様のみことばを受け入れることができず、霊の信仰を持つこともできません。世で学んだことが神様のみことばと合わない時は、それらを徹底的に否認して、みことばだけを完全に信頼して認めなければなりません。しかし、それができないので、霊の信仰が持てないのです。

本教会で信仰生活をしている聖徒の皆さんは、知識と思弁、粹とはかりごとを打ち砕くことがやさしくできます。毎週、数多くの不思議とするしを見聞きしています。特に不治の病と難病、あらゆる病気とわずらいが神の力でいやされる証しは、とうてい数えられないほどです。このように数え切れない神様のみわざを体験すると、いくら知識が多い人でも、自分の思弁とはかりごとを神様のみことばより先立たせることはできないのです。

＜ローマ人への手紙8:7＞に「肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。」とあります。今日、本教会に神様が見せてくださるみわざによっても、神様のみことばを信じられないようにする、すべてのはかりごとと思弁を捨てて、神様のみことばならば、ただ「アーメン」で受けられますように。

2) 神様のみことばを熱心に聞いて学んで、そのまま行なわなければなりません

# 信仰の量り(2)

「信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人々はこの信仰によって称賛されました。信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。」  
(ヘブル人への手紙11:1-3)

＜ローマ人への手紙10:17＞に「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」とあります。まずは神様のみことばを熱心に聞いて学び、真理で心を満たしていかなければならないのです。心を真理で満たしていくと、真理に逆らうものは抜け出て、きれいな心になります。このようにきれいな心に変えられた分、神様はより大きい霊の信仰を与えてくださいます。

＜ヨハネの手紙第一3:21-22＞に「愛する者たち。もし自分の心に責められなければ、大胆に神の御前に出ることができ、また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行なっているからです。」とあり、そのほかにも、聖書のあちこちでこのような約束をされています。神様は必ず約束を守られる方です。ですから、心を真理で満たしていき、みことばどおり生きていく子どもたちには、信じられる霊の信仰を与えて、その信仰で求めるとき、必ず答えてくださいます。

心の畑がとても良い人ならば、みことばを聞いて学ぶと、すぐ心に信じられるので、霊の信仰がすくすく育ちます。しかし、ほとんどの場合は、みことばを聞くと、初めは知識的な信仰で受けます。しかし、だんだんこれを霊の信仰に変えていかなければなりません。聞いて学んで、知識として入れた神様のみことばが、心の中で霊の信仰として満たされるためには、神様のみことばにそのまま聞き従う行ないが必ずなければなりません。

たとえば、ピアノを上手に弾くには、楽譜をしっかりと暗記したからといってできるのではなく、直接ピアノの前に座って練習しなければなりません。同じように、いくら神様のみことばをたくさん読んで聞いても、実際にそのみことばどおり行なわなければ、何の役にも立ちません。みことばどおり行なうとき、神様のみことばは生きていて力があるので、答えられ、祝福されるという美しい実を結びます。

もちろん、みことばどおり聞き従おうとしても、直ちに従えない場合もあります。神様が「愛しなさい」と言われたので、みことばどおり愛そうとしますが、心からは憎しみが捨てられないでいたり、憤りを捨てようとしているのに、度々憤ったりもします。そのような時は、火のように祈って、聞き従える力を受けなければなりません。祈ってもだめだったら、計画して決めたとおり祈ったり、徹夜や断食をしたりして、必ず力を受けなければなりません。このように心から神様の恵みと力を求めると、神様は必ず聞き従える力を下さいます。

それで、みことばに聞き従って行なっていく時こそ、霊の信仰を持つことができま

す。このように行ないによって霊の信仰を持つようになると、みことばに約束されたように、祝福が臨みます。たましいに幸いを得ているように、すべての点でも幸いを得、また健康であり、心の願いにも答えられます。こういう祝福の体験をするなら、それからはますます大きいことにも聞き従えるようになり、より大きい信仰を持つようになります。

それで、＜ローマ人への手紙1:17＞に「なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。『義人は信仰によって生きる。』と書いてあるとおりです。」とあるのです。「その義は、信仰に始まり信仰に進ませる」とあるように、聞き従って行なう時でこそ、知識的な信仰から霊の信仰に変えられて、小さい信仰からより大きい信仰に至るようになります。

この過程を理解しやすいように、たとえば水を挙げてみます。水を飲めばどの渴きが解消されることを知っていることは、知識的な信仰です。ところが、聞いて頭で知っているその知識を信じて行なってみたところ、実際にどの渴きが解消されました。すると、これが体験になって、その後はどの渴げば、自動的に水を探して飲むようになります。一つの知識が行ないによって心で信じられるので、次からは自動的に行なうようになるのです。

神様のみことばも同じです。聖書のみことばを聞いたとき、からし種ほどの信仰でも、ひとまず従って行なってみると、従ったとおり信仰の体験をして、その体験によって霊の信仰を得るようになります。それで、上から霊の信仰が与えられる分、次はさらに簡単にみことばどおり行なえるようになります。

霊の信仰が大きくなって完全になると、神様がいくら不可能なことを命じられても、すべて聞き従って行なうことができます。たとえば、アブラハムは百歳で得たひとり子のイサクを、全焼のいけにえとしてささげなさいという神様の命令にも、そのまま聞き従えました。アブラハムは神様の全知全能であることを確信して、イサクを全焼のいけにえとしてささげても、神様がまたよみがえらせることもできる、と信じたからです。このように不可能なことまで信仰で聞き従ったとき、彼は「信仰の父」となり、「神の友」とまで呼ばれる驚くべき祝福を受けることができました。

皆さんも、アブラハムのように神様のみことばに信仰で聞き従って、行ないで信仰の証拠を見せられますように。それで、父なる神様に喜ばれて、ますます大きい信仰を持って、毎瞬、全知全能の神様の力を体験して生きていかれますように。✝

# 賛美の本質と姿勢

音楽は人に喜怒哀楽を感じさせ、人生のエネルギー源になる。

このように正しく用いられると多くの益を与えるが、悪用されると数えきれない人々を墮落の道に引いていく媒体になったりする。

しかし、主にあっての音楽、つまり、賛美は、魂を健やかにし、すべてを美しく変える驚くべき力を持っている。

このような賛美の力で魂が新しくなって、答えと祝福を受けて生きるために、まことに神様が喜ばれる賛美とは何か、調べてみよう。

救われた神の子どもが、その恵みに感謝して賛美することは当然である。また、賛美を住まいとしておられる神様は(詩篇22:3)、子どもたちがメロディーのついた祈りである賛美をささげてお喜びになると、彼らに慰めと喜びを与え(詩篇105:2-3)、傷ついた心をいやし(第一サムエル16:23)、すべての苦難を勝ち抜く力と助けを与え(使徒16:25-26)、心の願いに答えるなど多くの祝福を下さる。ただ賛美するからといってこのような祝福が臨むのではなく、神様が喜ばれる賛美をささげるとき、霊肉ともに豊かになれるのだ。

## 音楽の始まりは神様への賛美

詩篇69:31には、賛美することが雄牛、角と割れたひずめのある若い雄牛にまさって主に喜ばれるとある。人が雄牛一頭をささげるのはやさしいことではない。当時、豊かでない人は羊やヤギをささげ、それさえない貧しい人は鳩や穀物をささげた。ところが、いろいろな供え物のうち最も尊い雄牛のいけにえよりも、心を込めた賛美のほうを神様は喜んでお受けになるのだ。

世界の始まる前から、数えきれないほどの天の軍勢と天使が、神様の栄光のために賛美してきたし、これからもとこしえまで賛美してあがめるだろう。このように神様への賛美が音楽の始まりと言えるが、賛美を担当していた天使のかしらルシファーは、美しい演奏と歌で神様の栄光を賛美しながら、いつもその側で特別な愛を受けていた。権勢と威厳も与えられ、他の天使と違って人性を持つようになったのだ。しかし、歳月が無数に流れるにつれ、だんだん高ぶりが生じて、神様がもともと下さった心が変わってしまった。

結局、ルシファーは神様を裏切って底知れぬ穴に閉じ込められていたが、時になって悪い霊どもの首領として闇の勢力を支配するようになった。天上で神様から愛されていた時は、言葉で表せないほどまぶしく輝いて美しかったルシファーは、墮落した後、ぞっとするような姿に変わってしまった。このような自分の姿に似ていくように、世で流行しているもので何としてでも人の心と思いを捕らえて、自分の思いどおりに引いて行こうとしている。

## ルシファーと音楽

特に音楽をする人々の中には、自分でも知らないうちに闇に支配される場合が多い。全身に気味の悪い刺青やアクセサリーをつけて、もつれた髪の毛を振り乱しながら、引き裂くような楽器の音と頓狂な声で自己陶醉して歌ったり、おかしな歌詞とメロディーで人の心をつらえたりする。

このような音楽を聴く人の中には、ひどい逸脱行動まで起こす場合もある。墮落する前に賛美を担当していたルシファーが、世の音楽で人の心をそそのかして捕らえていきながら人々に拜まれるのだ。ここで言う「世の音楽」とは、歌詞や曲、またはそれを歌う歌手などいろいろな面を見たとき、神様の前でふさわしくない音楽のことである。

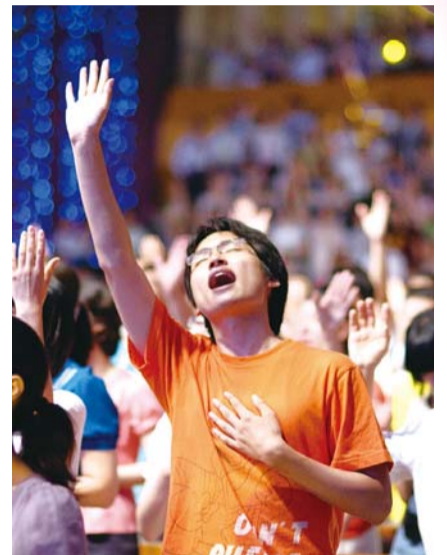
世の音楽の中にも、世の中の事を美しく表現して、天国の美しさを思い浮かばせるものもある。しかし、特別な場合でなければ、まことに神様だけを愛

## 神様が喜ばれる賛美

うわべでなく心をご覧になる神様は、賛美する人のテクニックや美しい声を聞かれるのではなく、信仰と愛、従順、そして、どれほど神様を畏れて真理の中に生きていくのかをもっと尊く思われる。賛美とは、神様への信仰と愛が込められていて、創造主の偉大さを声と全身で表現するものだからである。

<ヨハネの黙示録14:1~3>には、七年患難中に殉教した十四万四千人の伝道者が、御座の前と四つの生き物および長老たちの前で、新しい歌を歌う場面がある。彼らは主のために殉教するほど心が清くて美しいので、その賛美が主の御声のように「大水の音のようで、激しい雷鳴のようで、立琴をかき鳴らしている音のようでもあった。」と表現されている。

聖なる神様は、ご自分の子どもたちも悪がない、清く聖なる心であることを願われる。心を尽くして神様と主を賛



賜物も注がれて、心の願いもかなえられる。

## 私たちの人生を豊かにする賛美

使徒の働き16章で、イエス・キリストを伝えて奥の牢に入れられたパウロとシラスが賛美を歌うと、牢のとびらがあいて鎖が解けるみわざが起こった。死の陰の谷に落とされても神様への信頼が変わらなかったパウロとシラスは、心からにじみ出る感謝の賛美がささげられた。奥の牢で賛美が響くとき、天国でも彼らの賛美が響いて、その香は神様の御座を揺り動かしたのだ。

歴代誌第二20章を見ると、南ユダ王国のヨシャパテ王の時代に、モアブ人とアモン人が連合してユダを攻めて来たことが記されている。この時、ヨシャパテ王は聖なる飾り物を着けて賛美する者たちを任命し、彼らが武装した者の前に行き行って主を賛美した。これはただ神様を信じて頼った行いであり、神様は敵軍が互いに滅ぼし合って、ユダが勝利するように働かれた。

また、サムエル記第一16章では、ダビデが立琴をひくと、サウルから悪い霊が離れた。

このように神様に喜ばれる賛美をささげると、闇が退いて問題が解決され、魂に幸いを得ているようになるので、答えと祝福が臨む。したがって、神様への賛美は心からにじみ出る信仰の告白にならなければならない。それで、賛美する人の上に注いでくださる神様の愛によって、私たちの人生が霊肉ともに豊かになるのである。



GCNパワープレイズの公演

して天国を望む人々は、世の音楽を聴こうともしない。いくら良い音楽があっても、神様を賛美して天国を望むようにさせる賛美を聞こうとするのだ。

また、主を愛する心を万が一にも奪ったり、世に心を向けさせたりする音楽があるなら、当然警戒すべきである。それに、音楽の始まりが神様を賛美するためであり、神様が賛美を受けることを喜ばれることを悟るなら、賛美を聞くことを楽しんで、その口からは世の音楽でない賛美が流れるだろう。

美して聖霊の力を求めるとき、聖霊に感じるようになる。この時、世に打ち勝って罪を捨てる力が与えられ、信仰、希望、愛が加わる。

そうするためには、火のように祈って、心が聖められるために絶えず努力しなければならない。すべてのことに善を行って、すべての人と平和をつくって、良い言葉だけ出す口にならなければならない。このようにふさわしい賛美で神様に喜ばれるなら、聖霊に感じて動かされ、交わって満たされ、聖潔の

## この夫婦が幸せな理由

夫婦は血を分けた親、兄弟より近くても、心が変われば容赦なく他人になってしまう。最近、人生の黄昏期に他人になる夫婦が増えて、離婚率の急増は深刻な社会問題になっている。神様は「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。」「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」(エペソ5:22,25)とされている。神様のみことばに基づいた信仰の力は、仕えと愛で一つになった「美しい夫婦」を作る。



### 「神様に会った夫、今は妻だけを見つめる」

ソン・ギジュ・イ・ジヨムス夫婦(ソウル本教会)

働くのがいやで遊びまわってばかりいる夫、病気で寝込んでいる舅と姑、いくら働いても終わりが見えない仕事、苦勞して働いても生活に追われるばかり。

疑り深い夫は、新婚の頃から酒さえ飲めば妻を疑って、悪口を言ったり殴ったり。気に入らなるとちゃぶ台をひっくり返すことは一度や二度でない。こんな妻の人生に2006年、陽が差し始めた。

「ソウルで食堂をしている長男を手伝いに来て、教会というところに行くようになりました。教会は行ったことはないけど、やさしい嫁が言うから、とやかく言わずについて行きました」

教会に来た彼女は、いのちのみことばにひきつけられた。ソウルに行った妻を疑ってついて来た夫も、神様のみことばはやさしくて面白いと、教会さえ行けば気分が良くなった。

教会に通いながら、夫は180度変わった。酒とタバコをやめて誠実に働き、今までの過ちを心から悔いて、すべてにおいて妻によくするために努力する、物やわらかでやさしい夫になった。

「今は本当に幸せです。太陽を向くヒマワリのように、妻だけを見つめるようになりました。私がなぜあれほどけんかして殴ったりしたか、本当にすまなく思います。残った人生を愛で償いたいです。」

教会に来た後、妻はうつ病、皮膚病、尿失禁がいやされた。

「こんなに幸せな日が来るとは、想像もしませんでした。」数十年間、笑いというものを知らずに生きてきた妻の顔が、太陽のように明るくなった。

想像できない夢のようなことも、信仰にあっただけで神の子どもとされた特権だ。

毎晩9時、家族が集まって祈りながら賛美する。インターネットによってアメリカのラスベガスでソウルにある万民中央教会の礼拝に参加して、幸せな信仰生活をしているこの家庭。神様を愛する夫婦の姿は、自然に子どもにとって信仰の手本になった。

ジェユン(17歳)、チャニョン(11歳)の二人の息子も、聖潔の福音でイエス・キリストを信じて、神様を愛する子どもになった。「よく問題を起こして学校に適応できなかったジェユンが、堂会長先生の説教を聞いた後、生活が変わりました。ほとんど毎日、授業が終わると伝道したり、学校の前で登校15分前に「旗ざお前で祈る会(Flagpole Prayer)」に

参加しています。去年は10年生全体の3%の中に入る優秀な成績を取って、今年9月、11年生の優等グループに入りました。将来のビジョンも、福音を伝える宣教師になることです。」

「チャニョンは祈るたびに涙を流して祈ります。思いやりがあって、思慮深い性格です。今年6月4日には、小学校の卒業式で、優秀な成績といろいろな方面ですぐれている生徒に授与する<ブッシュ大統領賞>も受けました。」

神様が下さった祝福のプレゼント、ジェユンとチャニョンを見ながら、もっと主の愛を感じるという夫婦。神様を愛するこの家庭のまことの主は、イエス・キリストである。

### 「イエス・キリストがわが家の主」

キム・ハンヨル、オ・ジョンソン夫婦(アメリカ・ラスベガス)



### 日本支教会の連絡先

#### イエス・キリスト飯田万民教会

担任：柳 承吉(ユ・スングル)牧師  
崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師  
山下 好美 牧師  
安達 真理子伝道師  
イ・ハンニョン宣教師  
住所：〒395-0807  
長野県飯田市鼎切石 3883-4  
連絡先：T) 0265-56-8286  
F) 0265-56-8287  
e-mail：imc@s9.dion.ne.jp  
ホームページ：http://iidamanmin.to.cx/

#### 名古屋万民教会

担任：時國 みや子 伝道師  
住所：〒465-0014  
名古屋市名東区上菅 1-916  
連絡先：T) 052-774-8874  
F) 052-774-8883  
e-mail：nago\_mhc@maroon.plala.or.jp

#### イエス・キリスト山形万民教会

担任：チャン・カンソプ牧師  
住所：〒999-3716  
山形県東根市蟹沢 1486-4  
連絡先：T/F) 0237-43-0771  
e-mail：ymgtjks@gmail.com

#### イエス・キリスト別府万民教会

担任：加藤 勲 牧師  
住所：〒874-0924  
大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
連絡先：T/F) 0977-23-8980  
e-mail：b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp

#### イエス・キリスト大阪万民教会

担任：キム・マルコ牧師  
キム・モニカ宣教師  
住所：〒591-8023  
大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15  
連絡先：T/F) 072-220-5289  
e-mail：osmanmin@hotmail.com

#### イエス・キリスト旭川万民教会

担任：小松 幹 伝道師  
住所：〒071-8144  
北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23  
連絡先：T/F) 0166-53-0652  
e-mail：asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp

#### イエス・キリスト東京田端万民教会

担任：ジョン・ギョント牧師  
ソン・アミ宣教師  
住所：〒114-1102  
東京都北区田端新町 2-25-3  
連絡先：T) 03-3809-3326  
e-mail：manjeong17@yahoo.co.jp  
ホームページ：http://tabata.manmin.or.kr/

#### イエス・キリスト川崎万民教会

担任：平良 エリカ 伝道師  
住所：〒210-0818  
神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目  
12-8 グリーンヴァレ301  
連絡先：T) 044-277-0178

#### イエス・キリスト松本万民教会

担任：伊藤 正明 牧師  
伊藤 時子 伝道師  
住所：〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
連絡先：T) 0263-57-0003  
F) 0263-57-0015  
e-mail：mmcito4343@nifty.com

#### イエス・キリスト舞鶴万民教会

担任：キム・マルコ牧師  
キム・モニカ宣教師  
住所：〒624-0913  
京都府舞鶴市字上安久 138  
連絡先：T) 0773-75-5656  
e-mail：osmanmin@hotmail.com

#### 岡山万民教会

担任：時國 裕博 牧師  
住所：〒701-2155 岡山市中原460  
連絡先：T) 086-275-7276  
e-mail：oky\_777@blue.plala.or.jp

#### イエス・キリスト八千代万民教会

担任：青木 久尚 牧師  
住所：〒276-0045  
千葉県八千代市大和田 670  
連絡先：T/F) 047-483-3587  
e-mail：hisanao@kyi.biglobe.ne.jp

#### イエス・キリスト銚田万民教会

代表：飯塚 優  
住所：〒311-2102  
茨城県銚田市台濁沢1080-6  
連絡先：O) 0291-39-9177  
e-mail：surf9snow9@yahoo.co.jp

#### イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)  
担任：崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師  
リュ・ウンギョン伝道師  
住所：〒160-0004  
東京都新宿区四谷一丁目8-8  
佐伯千成ビル5-B  
連絡先：T/F) 03-3356-9830  
E-mail：imc@s9.dion.ne.jp

#### 横浜鶴見福音教会(協力)

担任：前田 實隆 牧師  
住所：〒230-0047  
神奈川県横浜市鶴見区下野谷町  
3-104-4  
連絡先：T)045-521-5843